



ナナホシテントウ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年4月上旬 備考：—
- ③ 大島愛嬢菜



キマダラカミキリ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2024年5月上旬 備考：—
- ③ 荒井啓三



ラミーカミキリ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2024年5月下旬 備考：国外外来種
- ③ 荒井啓三



キベリクビボソハムシ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年4月中旬 備考：園内初記録
- ③ 堀田佳之介



ヨモギハムシ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月下旬 備考：—
- ③ 橋本颯馬



アトボシハムシ

- ① 平塚市高根 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：—
- ③ 武末範子



ニレハムシ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年4月中旬 備考：—
- ③ 笠畑大



ムシキエブ亜科の一種

- ① 平塚市めぐみが丘 同定：—
- ② 2024年4月中旬 備考：ナミマガリケムシヒキ?
- ③ 高橋茂



カシコスカシバ

- ① 平塚市上吉沢 同定：—
- ② 2024年5月下旬 備考：—
- ③ 露木和男



Abraxas sp.

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年5月下旬 備考：ユウマダラエダシヤク?
- ③ 海老澤顕寿



ヨモギエダシヤク

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月上旬 備考：園内初記録
- ③ 堀田佳之介



ホソウスバフユシヤク♂

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2024年3月中旬 備考：—
- ③ 山本幸喜



イボタガ幼虫

- ① 平塚市上吉沢 同定：—
- ② 2024年5月上旬 備考：—
- ③ 露木和男



ウンモンズズメ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年4月中旬 備考：—
- ③ 橋本颯馬



フクラスズメ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年3月中旬 備考：—
- ③ 海老澤顕寿



オオシマカラスヨトウ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月上旬 備考：園内初記録
- ③ 下田梨々美



アヤモクメキリガ幼虫

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年4月下旬 備考：—
- ③ 海老澤顕寿



ウスバシロチョウ

- ① 相模原市緑区佐野川 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：—
- ③ 武末範子



ジャコウアゲハ蛹

- ① 真鶴町真鶴 同定：—
- ② 2024年4月下旬 備考：—
- ③ 堀田来佳



ジャコウアゲハ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年4月中旬 備考：—
- ③ 宮森鈴葉



キアゲハ幼虫

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年5月下旬 備考：—
- ③ 海老澤顕寿



アゲハチョウ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年4月中旬 備考：—
- ③ 志澤秀祐



アゲハチョウ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年4月中旬 備考：—
- ③ 伊藤瀬南



アゲハチョウ

- ① 大和市林間 同定：—
- ② 2024年4月下旬 備考：—
- ③ 下田梨々美



ナガサキアゲハ

- ① 秦野市戸川 同定：—
- ② 2024年5月上旬 備考：—
- ③ 志澤秀祐



ナガサキアゲハ

- ① 秦野市羽根 同定：—
- ② 2024年5月上旬 備考：—
- ③ 小松望結



カラスアゲハ

- ① 秦野市羽根 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：—
- ③ 小松望結



アオスジアゲハ

- ① 南足柄市 同定：—
- ② 2024年4月中旬 備考：—
- ③ 露木和男



キタキチョウ

- ① 平塚市寺田縄 同定：—
- ② 2024年5月下旬 備考：—
- ③ 小西杏



モンキチョウ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年4月上旬 備考：—
- ③ 下田梨々美



モンキチョウ♀

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年5月下旬 備考：—
- ③ 志澤秀祐



ツマキチョウ♀

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2024年4月下旬 備考：—
- ③ 露木和男



モンシロチョウ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：交尾中
- ③ 下田梨々美



モンシロチョウ

- ① 平塚市寺田縄 同定：—
- ② 2024年5月下旬 備考：—
- ③ 高木柊



ウラゴマダラシジミ

- ① 平塚市内 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：—
- ③ 露木和男



トラフシジミ (春型)

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2024年3月下旬 備考：—
- ③ 堀田来佳



トラフシジミ (春型)

- ① 南足柄市 同定：—
- ② 2024年4月中旬 備考：—
- ③ 露木和男



トラフシジミ (夏型)

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月下旬 備考：国内初記録
- ③ 堀田佳之介



コツバメ

- ① 山北町内 同定：—
- ② 2024年3月下旬 備考：—
- ③ 露木和男



ベニシジミ

- ① 平塚市寺田縄 同定：—
- ② 2024年3月中旬 備考：—
- ③ 志澤秀祐



ベニシジミ

- ① 平塚市寺田縄 同定：—
- ② 2024年5月上旬 備考：—
- ③ 下田梨々美



ベニシジミ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年5月下旬 備考：—
- ③ 志澤秀祐



テングチョウ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2024年4月中旬 備考：—
- ③ 露木和男



アサギマダラ幼虫

- ① 大磯町生沢 同定：—
- ② 2024年3月中旬 備考：—
- ③ 武末聡子



アサマイチモンジ

- ① 平塚市寺田縄 同定：—
- ② 2024年5月下旬 備考：県 RDB 絶滅危惧Ⅱ類
- ③ 伊藤瀬南



キタテハ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年4月中旬 備考：—
- ③ 志澤秀祐



ルリカタテハ

- ① 平塚市上吉沢 同定：—
- ② 2024年5月上旬 備考：—
- ③ 高橋茂



アカカタテハ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2024年3月中旬 備考：—
- ③ 堀田来佳



アカボシゴマダラ(名義タイプ亜種)
① 秦野市羽根 同定：—
② 2024年5月中旬 備考：特定外来生物
③ 小松望結



キムネクマバチ
① 平塚市上吉沢 同定：—
② 2024年5月上旬 備考：—
③ 高橋茂



ミスジマイマイ
① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2024年3月中旬 備考：—
③ 秋山颯汰



ウスカワマイマイ
① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2024年4月上旬 備考：—
③ 田淵尊



ウスカワマイマイ
① 平塚市寺田縄 同定：—
② 2024年5月下旬 備考：—
③ 片沼遼也



チャコウラナメクジ幼体
① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2024年4月下旬 備考：国外外来種
③ 植松凌己



チャコウラナメクジ
① 平塚市岡崎 同定：—
② 2024年5月中旬 備考：国外外来種
③ 下田梨々美



ナメクジ
① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2024年4月下旬 備考：—
③ 山川梨乃



ミヤコウミウシ
① 真鶴町真鶴 同定：—
② 2024年4月下旬 備考：—
③ 山田健誠



ウマビル
① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2024年5月下旬 備考：—
③ 中村いと



ニホンアマガエル
① 平塚市寺田縄 同定：—
② 2024年5月下旬 備考：—
③ 早川杏波



ヒガシニホントカゲ
① 秦野市羽根 同定：—
② 2024年4月中旬 備考：県RDB要注意種
③ 小松望結



ヒバカリ
① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2024年3月下旬 備考：県RDB準絶滅危惧
③ 小西碧



ヒバカリ
① 平塚市岡崎 同定：—
② 2024年4月下旬 備考：県RDB準絶滅危惧
③ 海老澤顕寿



ヒクイナ
① 平塚市真田 同定：—
② 2024年3月上旬 備考：—
③ 堀田来佳



タシギ
① 平塚市真田 同定：—
② 2024年3月上旬 備考：—
③ 堀田来佳



タマシギ
① 平塚市真田 同定：—
② 2024年3月上旬 備考：—
③ 堀田来佳



カワセキ
① 平塚市真田 同定：—
② 2024年3月上旬 備考：—
③ 堀田来佳



ジョウビタキ♀
① 平塚市岡崎 同定：—
② 2024年3月上旬 備考：—
③ 堀田来佳



ジョウビタキ♂
① 平塚市真田 同定：—
② 2024年3月上旬 備考：—
③ 堀田来佳



ツルナ
① 真鶴町真鶴 同定：—
② 2024年4月下旬 備考：—
③ 富岡誠一



ハマダイコン
① 真鶴町真鶴 同定：—
② 2024年4月下旬 備考：—
③ 富岡誠一



ヤドリギ科
① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2024年3月中旬 備考：鳥類が食べて糞として落としたもの
③ 大澤康子

DATA 創刊号からの累計 **914種**

昆虫類 **691種** (New11種)

モンキツノカメムシ、アトボシハムシ、インジョウカイモドキ、キベリクビソハムシ、ニレハムシ、ヒメオビオオキノコ、オオシマカラスヨトウ、ホソウスバフユシャク、ウラゴマダラシジミ、コツバメ、トラフシジミ

その他 **223種** (New6種)

ナメクジ、タマシギ、ヒクイナ、ツルナ、ハマダイコン、ヤドリギ

※種名が判明したものに限り **END**

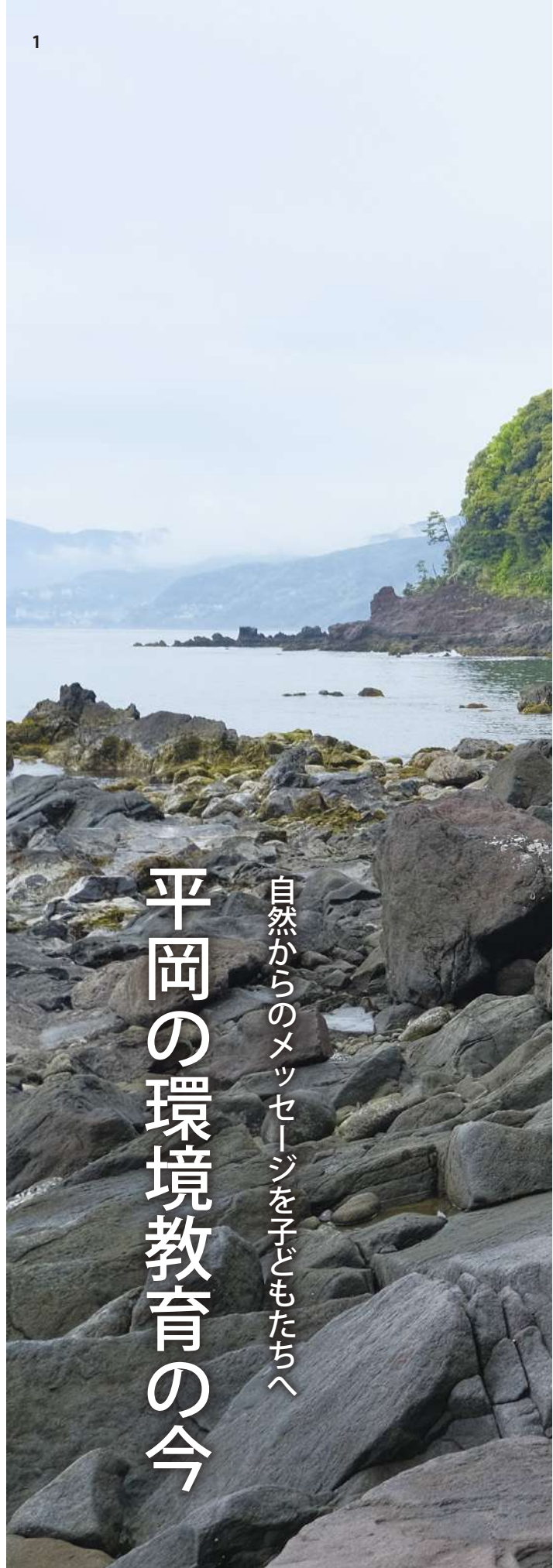


1 神奈川県のアハゼミ調査

真鶴半島自然公園ほか

アハゼミは、春～初夏に成虫が出現するセミで、アカマツやクロマツなどのマツ林に生息します。神奈川県では「マツ枯れ」の進行によりアハゼミの衰退がとりわけ顕著で、多くの産地が消滅してしまいました。平岡幼稚園では園事業の一環として2015年より神奈川県のアハゼミの生息状況を継続して調べています（2023年度より神奈川県レッドデータブック改訂の基礎調査も兼ねて実施しています）。2024年度は、既産地（真鶴半島、小田原市久野、相模原市緑区青根）での生息を再確認したほかに、県北部でいくつかの新産地も発見することができました。これらの調査結果は、日本セミの会の機関紙 CICADA で報告する予定です。

1／真鶴半島は県内有数のアハゼミの産地だ。今年も真鶴での調査を皮切りに、県内全域を対象とした調査を行った。2／アハゼミは樹上の枝先にいることが多く、天気の良い日にしか鳴かない。成虫を見つけるのがとても難しいセミだ。3／目線の先にあるのはヒトクチャタケ。枯れて間もないマツに生えるという。饅頭みたいで面白い。4／アハゼミのぬげがらは、触角の形状に特徴がある（4節が大きい）。5／真鶴では、調査の合間の磯遊びも楽しみの1つになっている。



平岡の環境教育の今

自然からのメッセージを子どもたちへ



HIRAOKA ACTION REPORT

2024
Mar.-May



2 平岡の森 ビオトープ観察会

2024年3月22日(金)・27日(水) 9:30～11:30

2024年3月22日と3月27日に、有志の園児親子を対象とした平岡の森でビオトープ観察会を行いました。両日とも天気恵まれ、ヤゴやサワガニなどの生きものを探したり、セリやキクラゲを摘んだりして、春の自然を満喫しました。当日開催された「誰が一番サワガニを見つけられるか選手権」の様子は、今号の四季のたより(P1)に掲載されています。

1/ヒバカリ(幼体)。とても大人しいヘビだ。 2-3/水辺で生きもの探しを楽しむ参加者。 4-5/キクラゲやセリの収穫。自然の恵みを満喫する園児。 6/ザラザラしたムクノキの葉で木材を磨くと、驚くほどツルツルになる。 7/「誰が一番サワガニを見つけられるか選手権」の1コマ。みんなで盛り上がった。

3 大磯丘陵のヒグラシの特徴

観察会等で成虫のサンプル収集に協力してもらいました

ヒグラシの胸部には黒色～暗褐色の斑紋が見られます。この斑紋には個体差があり、ときに黒色部が発達したり、縮小・消失したりすることが知られています。2023年の夏に大磯丘陵の各所で成虫を調べたところ、黒色部が縮小・消失する個体の割合が高いという結果が得られました。大磯丘陵に分布する個体群の大きな特徴かもしれません。このことは、2024年5月発行のCICADA Vol.31(日本セミの会)にて発表されました。成虫のサンプル収集に際し、観察会等で園児が捕まえたものも提供していただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

【文献情報】

林 正美・堀田佳之介, 2024. 神奈川県大磯丘陵のヒグラシ. Cicada, (31):25-27.



1 / ヒグラシの淡色型。

2-3 / 成虫のサンプル収集には園児にも協力してもらった。2の個体は黒色の斑紋が見られる標準的なタイプ。3は淡色タイプ。

4 / 観察会の様子。子どもたちが見つけたさまざまな昆虫の中にヒグラシもあった。

4 わかば環境ISO

平塚市より「わかば証書」をいただきました

平塚市教育委員会と平塚市環境政策課が、市内の学校で行う「環境にやさしい教育活動」を認証する「わかば環境ISO」。平岡幼稚園では2015年より毎年認証を受けています。2023年度も平塚市長および平塚市教育長よりわかば証書をいただきました。



第16回 心が育つ 幼児教育

吉田先生編 ⑫

ハナネコノメ

花は野にあるから美しい

ハナネコノメからのメッセージ

早春に咲く美しい花たちに会いたくなくなって野山を歩いていると、小さな滝が見えてきた。流れ落ちる水は水しぶきとなって舞い上がり、岩に付いているコツボゴケやトヤマシノブゴケ等のコケ類を生き生きと輝かせている。

苔むした岩の上には、コガネネコノメソウの小さな黄色の花が咲いていた。良く見ると、8本の雄しべの先の葯（やく／花粉ができる部分）が、四角形の箱に納められたように並んでいる。岩の下の方では、白い花弁に赤い葯がよく映えるハナネコノメの花が咲いていた。面白いことに、この花もまた葯がきちんと四角形に並んでいた。自然が生み出す不思議な規則性に驚きつつ、その美しさに見入ってしまった。

花は野にあるからこそ美しい。それがハナネコノメやコガネネコノメソウからのメッセージだと思った。綺麗な花は花屋さんにもたくさんあるが、人の手のあまり入らない野山で出会う花の美しさは格別だ。身も心もすっかり癒してくれた野の花たちに来年もまた会えることを願い、そつと山を下りた。



文・写真 吉田文雄

鹿児島大学卒。元小中学校理科教諭。公立中学校長を最後に定年退職。現在は神奈川県立愛川ふれあいの村学芸員。著書に、『あつぎ自然歳時記』（国書刊行会）、『自然は友たち 春夏秋冬』（神奈川新聞社）などがある。



コガネネコノメソウ



コツボゴケ



第13回 知育ゲーム

出題：編集部 画：富岡誠一

家屋の木材を食い荒らしてしまうことと知られるシロアリ。
次のどれと同じ仲間でしょうか？

- ① アシナガバチ ② クロオオアリ ③ チャバネゴキブリ
(答えは下の欄)

● **ダウンロード** 平岡幼稚園HPからPDFがダウンロードできます。

● **頒布** 無料で各号ひとり1部に限り、平岡幼稚園にてお渡ししています。(※ 要事前連絡)
ikimono@hiraoka-kg.com もしくは 0463-58-1188(担当:園長)まで

● **配架・所蔵** 以下の施設でも閲覧できます。

【図書館】 国立国会図書館(東京本館・関西館)、神奈川県立図書館、横浜市中立中央図書館、平塚市中央図書館、平塚市南図書館、相模原市立図書館、茅ヶ崎市立図書館本館、大磯町立図書館、二宮町図書館、藤沢市総合図書館、藤沢市湘南大庭図書館、藤沢市辻堂図書館、横須賀市立中央図書館、座間市立図書館、鎌倉市図書館、横浜女子短期大学図書館、※厚木市立中央図書館、※綾瀬市立図書館、※秦野市立図書館、鶴見大学図書館 ※印は蔵書登録なし

【博物館等】 県立生命の星・地球博物館、平塚市博物館、横須賀市自然・人文博物館、相模原市立博物館、あつぎ郷土博物館、大磯町郷土資料館、愛川町郷土資料館、箱根町立郷土資料館、観音崎自然博物館、茅ヶ崎市博物館

【その他】 神奈川県自然環境保全センター、神奈川県環境科学センター、県立秦野ビジターセンター、県立愛川ふれあいの村、県立足柄ふれあいの村、秦野市立くずはの家、平塚市子育て支援センター、平塚市環境保全課、平塚市立岡崎公民館、金沢自然公園ののはな館、箱根町立森のふれあい館、はこね・おだわら昆虫館、平塚市立びわ青少年の家、平塚市町内福祉村おかざき鈴の里、うみねこ博物堂、平塚市立土屋霊園、Mushi-sha(むし社)

Back Number

過去号閲覧



湘南自然誌 PDF 版
hiraoka-kg.com/culture/



Publisher

発行元

HIRAOKA Kindergarten
平岡幼稚園



平塚市北部の伊勢原台地南端の麓に位置する我が園には、台地斜面から湧き水が染み出し、元々の表土も多量に残されるなど、豊かな自然環境が保存されています。2009年より園地をピオトーブにして、周囲に住む多様な生物を呼び込みながら、子どもたちと一緒に地域の自然環境を保全するほか、生物の調査・研究活動も行っています。1967年開園、園地総面積7116㎡。

主な受賞歴

- 2014年 関東・水と緑のネットワーク拠点100選に選定
- 2015年 生物多様性日本アワード 最終選考
- 2019年 かながわ地球環境賞(神奈川県)
- 2020年 日本生態系協会賞(公財・日本生態系協会)
- 2021年 地域環境保全功労者表彰(環境省)



website

Answer

知育ゲーム答え

答えは③ シロアリは実はアリではなく、ゴキブリ目の昆虫です。ちなみに、アリはハチ目に属する昆虫なので、①アシナガバチと②クロオオアリは同じ系統に属します。

Editor's Note

編集後記

本誌では少々マニアックな生きものを特集にすることが多かったのですが、かねてよりもっと一般受けする生きものも取り上げたいと考えていました。今回、念願叶って子どもたちに大人気の「クワガタ」をテーマにすることができました。普通クワガタといったら、ノコギリクワガタ・コクワガタ・オオクワガタあたりを思い浮かべるとは思いますが、実はクワガタムシは、神奈川県内だけで18種類もいます。そのすべて(県外のものも含む)を所蔵しておられる「はこねおだわら昆虫館」副館長の木崎氏のおかげで、県内全種図鑑を作ることができました。子どもたちにとって眺めているだけでもワクワクする図鑑になったと思います。木崎さん、ご協力ありがとうございました。(富岡)



特集
神奈川県
クワガタムシ
監修：木崎庸雅
(はこねおだわら昆虫館 副館長)